

楠原だより

早いもので、十一月に入りました。先週から朝の冷え込みが厳しい日が続き、秋の深まりを感じる日々です。学校でも、実りの秋(収穫の秋)、スポーツの秋真っ盛りです。

実りの秋 その一

一、二年生が一学期に植えたサツマイモが収穫の時期を迎えました。当初は岐宿つ子祭りで使用予定で育ててきましたが、コロナ禍のため今年度は、一年生と二年生で仲良く分配しました。大きさも形も様々な芋を賑やかな歓声の中たくさん収穫することができました。



めざす児童像
思いやりのある子
楽しく学ぶ子
たくましい子

実りの秋 その二

五年生は、川原ファームの方々の指導・ご支援のもと、学校の近くの田んぼをお借りし、もち米を育てていました。台風九号、十号接近の時はとても心配しましたが、大きな被害もなく、先日稲刈りを行うことができました。稲刈りをするのが初めての子どもでしたが、教えていただきながらなんとか刈り取ることができました。



ご協力いただきました、川原ファームの皆様ありがとうございました。



陸上記録会

去る、十月二十七日に陸上記録会を実施しました。これは、今年度コロナ禍のため中止となった小体連大会の替わりとして実施したものです。昨年度オープンした新しい陸上競技場で、それぞれの種目で自己新記録を目指してがんばりました。



100メートル走



800メートル走



走り幅跳び



リレー
秋晴れの中、スポーツの秋を満喫しました。



ソフトボール投げ
秋の秋を満喫

花いっぱい運動

六年生は現在、「総合的な学習の時間」に「岐宿町を花いっぱいにして盛り上げよう」というテーマで、取り組んでいます。その第一弾として先日岐宿分館の花壇に花を移植しました。九年ほど前に旧岐宿小の取組で作った花壇です。もう一度子どもたちの手で復活させようと思いをしました。

さらに、教室で育てている花が移植できるくらい大きくなったら町内各主要施設に飾ってもらおうと思っ



草取りもがんばりました。



丁寧に、丁寧に移植しています。水やりは五年生ががんばってくれます。 ※裏へ続く



楠原だより

おむつ交換台を設置します

四年生は、「総合的な学習の時間」に「福祉」について学習しています。みんなが「共に生きる暮らしやすい町」とはどんな町なのか、今の自分たちができることはどんなことがあるのかなどを考えていく学習です。その一環として、子どもたちが「岐宿小学校にあるとみんなが助かるもの」ということで、いろいろ考えてくれました。具体的には、

○体の不自由な人のために「二階に行くための階段をエスカレーター」にしてほしい(荷物の多い先生たちも楽になるのではないかと)というありがたい言葉もありました)

○車椅子の人が来たときに「自動ドア」があると便利

○来校した人が休めるように「ゆったりイス」があつたら

など、たくさんアイデアを出してくれました。その中に、「赤ちゃんのおしめを替える台がほしい」という要望がありました。その理由は次の通りです。

「授業参観や岐宿っ子祭りの時に赤ちゃんを連れてくるお家の人がいます。その時、おしめを替えたいけど、トイレには台も何もないから一回家

めざす児童像
思いやりのある子
楽しく学ぶ子
たくましい子

に帰らないといけなくて、自分の子どもの発表とか見られない人がいます。だから、赤ちゃんのおしめを替える台があつた方がいいと思います。」
読んでみて、はっとしました。今まで全く頭になかったことです。子どもの視点の鋭さに感心しつつ、これなら要望に応えられると思ひ、檜木校務員に依頼して作ってもらいました。左の写真がその台です。(ちなみにこのアイデアは谷川登子さんのものです)。



赤ちゃんを寝かせる部分にタオルなどを取り付けベッドのようにします。その下にも荷物が置けるように収納部分を作ってもらいました。授業参観等で赤ちゃんを連れてきたときはぜひご利用ください。一年教室前の多目的トイレに置いていきます。